

学校づくりアンケート（教職員向け）に寄せられた声の紹介

2020年2月 尾北教職員労働組合

※ 学校づくりアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。寄せてもらった主な声を紹介します。各課題についてさまざまな角度から考えたいと思います。

5 1 特別な教科 道徳

（授業や教科書）

- 多様な考えを引き出すと言いながらも、価値の押し付けとなる側面があるのは否めない。
- 教科書を見ると、徳目を教えないといけないうように感じる。
- 10 ●その時の子どもの実態と合わない内容をやらなければならないことがあるので少し困る。
- 教科書に読み取り型の内容が多いように感じる。指導書の発問に対して、子どもは、教科書の文章を読み返していることがある。
- 子どもが安心して本心を出せる学級でないと、子どもは絶対に本心は出さない。
- 15 ●授業参観や研究授業・授業公開などの際、「道徳で」と指定され、やりたい教科の研究ができません。
- 中々深まりのある授業づくりまで行かないことが多く、子ども達の意見が表面的になることが多くなってしまっている。
- 無理なく取り組みれば、それほど問題はないと思います。
- 20 ●人の生命を傷つけない等の基本的な倫理は教えるべきだと思う。正義がよいこと等を教えすぎても、自分の命を投げ出したりするケースがあったことからそう思う。

（評価）

- 子どもが書いた文章と普段の様子を比べると、文章の方はきれいごとだなど思うことがあります。道徳は心を育てるものなのに評価するのはおかしいと思う。
- 25 ●道徳プリントなどで評価すると、文章表現の苦手な児童もいるので、評価をすることに疑問がある。
- 評価は必要ない。人の心を評価などできるのか。客観性が担保できない。
- 市町によって通知表の評価の仕方が違うのはおかしい。（扶桑町は2期制なのに、前期は道徳所見なし、総合所見も簡素、行動所見も係のみ。江南市は、3学期制なのに、すべて書いています。）
- 30 ●評価で個人による差をなくすために、コメントがパターン化され、なんのための評価か分からなくなる。
- 文章での評価しか仕方がないが、こちらのやることは増える。行動一覧で代替にならないか。
- 35 ●道徳の所見はいらぬ。評価せず、教科ではなく、道徳の時間として授業ができればよい。
- 授業に変わりはないが、評価を文章でするメリットを感じていない。
- 文章で表現できない子、苦手な子の評価がむずかしい。

- 評価というより、文章で子どもの今後の励ましとなるような記述をすることになっているので、思っていたよりも問題点となるようことは今のところないです。
- 形成的評価であれば、ある程度の形になるかと思いますが、果たして本当に必要かどうか疑問です。
- 5 ●「そもそも教員が人の道徳性について評価できるのか」その通り。評価はタマロム（ソフト名）を使っただけのものをつけていて情けない。
- 道徳を評価するのはおかしい。そもそも家庭で行われるべきことでは？
- 道徳の授業を週1でしっかりおこなうことは大切だと思うが、今の評価システムに意味があるのかよく分からない…。
- 10 ●どのような評価観点で評価するのか。特別支援学級の児童生徒はどのような活動をすればよいのか。
- 画一的な評価でとどまる現状ならば、多忙化解消の点から、他教科のような◎○△による評価に変えるか、評価ではなく、取り組んだ教材のみの表記でもいいのではないか。

15

2 小学校での英語教科化

(英語嫌いを生み出す)

- 5・6年の外国語の授業を見ていると（本校は先行実施している）とても高度なのでついて行けてない子が多く「英語嫌い」を生んでいる。必要ない。
- 20 ●高学年の後期に、一気に内容が難しくなっていると感じています。英語の苦手な私が教えて英語嫌いが増えるのではと心配しています。専科が必要です。
- 中学でスムーズに学習に入れるようにつなごうとある内容にするべき。難解な表現、語句が出ないようにしたい。
- 移行期間で学年によって英語の学習歴が異なり、中学校以降の英語指導は既習内容を活用した学習が複雑になって大変だと推察します。
- 25 ●教科書の内容が難しすぎて覚えてほしい単語以外の情報量についていけない子が多い。
- 楽しく言語を学ぶ素地を作るという視点が大切かと思えます。
- 実施するのであればアルファベットを教えるところから。言語で楽しむのは基礎をおさえてから。小学校でどのレベルまで教えるのか？
- 30 ●どのように指導し評価するのか。実施半年前になっても提案されないなんて遅すぎる。現場は混乱するばかりである。
- 評価することによって何かが変わるのか。70時間に増えることはメリットがたくさんあると思います。中学校にむけての準備が高学年でできていくような気がします。
- 35 ●求められる内容が多すぎる。週2時間ではできることが限られる。英語嫌いが増えそう。教師の負担も大きい。
- 英語の授業を受けたくないという子がいて、内容が難しくなったためだと思います。

(国語指導が大切)

- 国語力が十分に身につけていない小学校の段階から、英語を行うことに疑問を感じる。外国語の理解には、国語の言語力も必要不可欠である。
- 外国語を増やすより母国語(国語)の授業を充実させた方が良いと思う。
- 5 ●まず様々なところで言われている読解力の定着をはかる方が先決。主言語での思考をトレーニングしてからの副言語の習得をはかるべき。
- 日本語検定1級をとれる外国人は母国語も堪能。日本語が大切。専科が必要。担任では負担は増す。

(教える不安・専科が必要・その他)

- 10 ●子どもに英語力をつけたい意図は分かるが…。現場の教員をますます多忙化させているだけで結果が伴わないと思う。
- 来年度から、5・6年で700単語覚えさせるのは難しいと思う。やるなら、英語専科の人がいた方がいいと思う。子どものためにも。
- 15 ●備品をそろえるお金がない。デジタル教科書が導入されても、それに対応できるスペックを持ったPCや無線などの環境が整っていない。
- 英語教科化は良いと思う。反面、英語教室に通わせないとついていけないと感じる父兄さんも増えると思う。
- 教える不安がある。専科加配をお願いしたい。
- 20 ●低学年の担任が続いているので困り感がありません。また「担任がやる」必要性がそれほど感じられません。
- 時代の流れと思っています。
- 英語に接する時間が増えれば、英語の慣れが英語へのアレルギーを減らすと期待したい。

3 全国学力テスト

(全国学力テストの実施)

- 学テで県別に競争させられ、教育がねじまげられる。中止すべき。
- 子どもの実態を把握することは大切ですが、今のやり方では本来の目的が果たせていないのでやめてしまえばいいと思います。
- 30 ●大学入試についても、2本柱(英語民間試験導入・国数での記述式問題導入)がともに保留になったことを考えると、費用と時間のムダである本テストはやめるべき。
- 家庭によけいな心配をかけて不安をあおるので、必要はない。
- 意味のある調査をお願いしたい。
- 35 ●テスト結果を、今後の学習や児童にうまく生かしたりできると望ましく思います。
- なくてよいと思います。

(事前対策)

- 事前対策していたら意味がない。

- 事前対策は本末転倒だが、現場の生徒たちはあまりにも学テの問題（特に「B」）を知らなさすぎる。今、求められている学力はこういうものなんだ、ということぐらいは知った方がよい。

5 (中学校の英語調査)

- 英語をやるなら記述のみにすべき。ヒアリングは難しい。
- やるなら本当に英語の実力をはかることができるテストで実施すべき。
- 英語力よりも国語力の方が、身につけるべき優先事項だと思う。

10 4 教職員の多忙化解消
(持ち時間や空き時間)

※尾北教労は、丹葉校長会と市町教委に「小学校週25時間以内《1日1時間以上の空き時間》、中学校週20時間以内《1日2時間以上の空き時間》」を要求しています。

- 15 ●素晴らしいです。これがあれば定時退校も実現できそうです。
- ぜひ、実現させてほしい。空き時間は、肉体的にも精神的にも必要。無理な数字ではないと思う。
- 1日1時間の空き時間は絶対必要。
- 空き時間確保をすれば、他教科の教材研究、残業軽減、心のゆとり（先生も指導される子どもも）、トラブルの対応・防止、ヒドウンカリキュラム（先生の笑顔、雰囲気）、先生になりたい若者が増える。
- 20 ●特別支援学級担任は、全く空き時間や休憩なし。
- 理科専科や英語専科がいると、空き時間確保につながると思う。
- 週29コマです。しんどいです。
- 25 ●空き時間がないと、評価や教材準備ができない。
- 一日に2時間の空きが必要。でなければ担任制をなしに。
- 小学校勤務の先生方の空きコマを増やせるとよい。
- 低学年にも空き時間があるといいなと思います。
- 低学年は5時間で下校なのでいいが、高学年は大変です。ぜひ25時間を実現してほしい。
- 30 ●常勤の教科担任でも学級担任以上に空きがあったり、不公平感がある。
- 特別支援学級の担任で、空き時間が確保されていない。
- 全く不足している。
- 1日1時間で良いので空き時間がほしい。
- 35 ●1日1時間、教材研究等を行う時間としていただきたいです。
- クラス数が少ないから教員配置が少ない、というのは空き時間が確保できない要因。
- TTや少人数よりも、空き時間確保の方が多くの面でメリットがある。
- 特別支援学級を担任していますが、週30時間、1つも空き時間がありません。

(今後の多忙化解消)

- 教員の人数を増やし、特に担任の事務がこなせるようにすべき。
- 特別支援学級で1クラスの人数8人定員を減少し、支援の必要な児童にきめ細かく対応できるよう、教員の負担も軽減してほしい！
- 5 ●在校時間を短くする動きはあるが、業務内容の精選をしていないので、忙しくなった印象をもちます。
- 行事の見直しを、もっと進めるべき。
- 英語、道徳、総合…。時間のかかることや、やるべきことが増やされ続けている！
- 思い切ってやってほしい。学芸会（学習発表会）をなくす、通学班は学校はノータッチ、尾教研等の「任意」団体の解体など。これぐらいしないと、多忙のまま。
- 10 ●学習発表会を授業参観の形式にする。
- 合唱コンクール、〇〇発表会、夏休みのプールなど、いらなと思う。
- 小学校でも教科担任制を導入する（高学年）など、教材研究の時間を減らしたい。
- 2期制にしてほしい。
- 15 ●多忙化解消はいいけれど、制度が大きく変わったわけでも仕事量が変わったわけでもない。結局早く帰れと言われてストレスがたまるだけなので、制度が変わらないなら表向きのことをやめてほしい。
- 夕方5時以降は学校を閉め、電話対応をしない。土日の部活も地域へ移行するなど行っていくとよい。
- 20 ●現場だけで多忙化解消を目指すのは、不可能。
- 教員がやらなくてもいい仕事があると思うので、社会や地域で割り振ってほしい。
- 教職員を増やすことを切望します。
- 具体性がないのであまり期待してません。感じられません。
- 学校として、誰が処理した方がよいのか、これをもっと考えるべきである。
- 25 ●修学旅行、野外教室、運動会、学芸会、卒業式を見直していきたい。つまらない行事をまず止めることが重要。
- 教科担任が、学級や学年事務のサポートができる体制作り。管理職の方々に「コスト意識」「やめる勇気」をもって頂きたい。
- 全ての行事に意味があるが、効果の低いものを見極め、削減する必要がある
- 30 ●業務自体が多いと感じる。
- 制度を変えることも大切だが、気の持ちようも大きいと思う。
- 講師の先生にも校務分掌がいくようにしてほしい。かたよりすぎていると思う。
- 通知表の見直しをする。
- 通学班の廃止、給食の外注、学年会計のための会計士の雇用など。

35

5 時間外勤務の割り振り

- 今年度、日常で使う割振変更簿について、校長先生から、設置したことと、使い方について説明がありました。これから使っていきたいです。
- 管理職がプリント等で明確にして毎年配付すべき。

●割振変更簿の創設ありがとうございました。みんなが気持ちよく働ける職場にしたいです。

●（割り振り）だからといって、言いにくかったり、仕事が多かったりして、早く帰れないのがつらいです。

5 ●今日は割り振りで〇時で勤務を解くと突然言われます。言われるタイミングが仕事を切り上げて帰れる時ではないので、結局帰る時間は変わりません。

●「尾北では多くの学校で日常で使う個人別の割振変更簿が設置されている」という表現は、割り振りがない学校の職員は心を痛めています。早くどの学校にも設置してほしい。

10 ●割り振りは自分のタイミングでとれるようにしてほしいです。

●割り振りに該当する時間を、管理職がしっかりと明示してほしい。

●年度初めにきちんと説明していただきたい。

●割り振りについてよく分からない。

●やはり長期休業中以外は割り振りがとりにくい。

15 ●しっかり配慮してもらっている。

●業務内容が減らない中、割り振りをとって下さいと言われても、何のために？

●行事などの大きなものの割り振りは長期休業中にほぼとれているが、毎日の休憩時間の積み重ねなどの小さなものは割り振りが無い。

20 6 勤務時間・休憩時間・年休・療養休暇など

●休日に、何時間か仕事をしに学校に来たとき、タイムカードを押しにくい雰囲気がある気がします。

●30年以上教員をしてきて、休憩をとったことは1度もありません。周囲の同僚も同じだと思います。まず、システムの整備をしていただきたいです。

25 ●1日の勤務の中で休憩時間を確保しやすいようにしてほしい！

●休憩時間は全くとれていないし、療養休暇もよく分からずにとれていない。

●勤務時間の7時間45分と休憩時間がいつなのかということ等、よくわからないので教えてほしい。

30 ●風邪・インフルエンザのシーズン前に、校長先生から全職員に対して、療養休暇についてくわしく説明がありました。

●療休をとる権利をもっと周知させねばならない。

●まず業務量を減らしてほしい。

●休憩時間がとれません。

●平日でも手軽にとれる時間休が、1カ月に1回くらいあるとうれしい。

35

7 その他

（変形労働時間制・免許更新制・駐車料金問題・学校訪問など）

●変形労働時間制だと今より拘束時間が長くなるのでやめてほしい。

●変形労働時間制、断固反対！

- 変形労働時間制は、全く意味がない。
- 変形労働時間制が教職員の負担増を合法化するものではなく、負担減になるよう運用されてほしいです。
- 免許更新は、一周したから、もうよいのでは。
- 5 ●教員免許更新制も学校訪問も廃止すればいいと思います。それより時間をかけるべきことは他にあると思います。
- 駐車料金は、なし！お金ないです…。
- 駐車料金の撤廃を強く求めます。
- 駐車料金いらない。近所の喫茶店の客はとめているのに…。
- 10 ●駐車料金に断固たるNOを！
- 学校訪問は1ヶ月前から時間を設定するなど実態に合わない。その手間と時間をとられている。
- 学校訪問は2年に1回でよい。他の教育事務所の状況も見てほしい。
- 学校訪問は名古屋市はかなり簡素化されている。丹波（県）も、そうしてほしい。
- 15 ●コミュニティ・スクールは外部の方への「おもてなし」に気をつかう。
- 大口町の研修会が大変。夏季＋冬季＋4年に一度の授業公開。誰が首をしめているのか…。
- 管理職にしっかり研修を行い、学校のマネジメントにつとめていただきたい。そのための手当をもらっているはず。
- 20 ●教員免許更新制、学校訪問、駐車料金、コミュニティ・スクール等、簡素化・廃止の方向にしていきたいと思います。

（働きやすい職場づくり）

- 職員室の雰囲気はストレスに繋がったり、子どもに伝わったりと思う。
- 25 ●職場のパワハラに困っている。パワハラはどこに訴えればよいかよくわからず困った。県の公平委員会はどうか調べていきたい。
- 働きやすい環境をお願いします。
- 先生の仕事は楽しく、価値あるものだと世の中に広めたい。そのために、職場環境を良くすべき。

30